

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-C06

申請日	2018/8/28	承認日	委員長	印
レジメン登録		仮承認日	承認者	印

FOLFIRI + Bevacizumab	病名	大腸癌	外科	提出医
対象	切除不能の進行・再発の大腸癌 1次治療以降			

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)									
			1	7	15	20	22	25	30			
アバスチン(ベバシズマブ)	5mg/kg	div	○									
レボホリナート	200mg/m ²	div	○									
イリノテカン塩酸塩	150mg/m ²	div	○									
フルオロウラシル	400mg/m ²	div	○									
フルオロウラシル	2,400mg/m ²	div	○→									
投与間隔・休薬期間等: 14日=1コース												

【投与処方例(前投薬など)】治療前には、CVポートを留置すること

*治療開始前に、UGT1A1の遺伝子多型を調べておくこと。

*多量の腹水・胸水のある患者、イレウス患者等には禁忌(詳しくは添付文書を参照)

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】生理食塩液100mL + アバスチン/div 初回90分、2回目60分、3回目以降30分
- ③ メイン【白-1】生理食塩液100mL + アロカリス1V + パロノセトロン1V + デキサート4mg /div 30分

- ④ メイン【白-2】 5%ブドウ糖液100mL /div 30分
⑤ メイン【白-3】 5%ブドウ糖液250mL+イリノテカン /div 2時間
⑤' Y側管【水色】 5%ブドウ糖液250mL+レボホリナート /div 2時間 } 同時に
⑥ メイン【黄】 生理食塩水50mL+フルオロウラシル400mg/m² /div 全開
⑦ メイン【青】 生理食塩水1000mL+フルオロウラシル2400mg/m² /civ 46時間
【ルアーロック】へパリンNaロックシリンジ (終了後ポートフラッシュ)

※ インフューザーポンプ使用の場合 (外来外来療法)

携帯型⑦' 生理食塩水100mL+フルオロウラシル

(生食の量は5-FUとの合計が140mLになるように調整) /div 46時間 (3.7mL/hr)

制吐剤セット処方④

Day2.3 デカドロン錠4mg 1錠(分1 朝食後)

参考文献 JCO 2007; 25: 4779